

生産方式革新実施計画の概要【高橋 友栄】

2026年
4月23日認定

活用するスマート農業技術

自動操舵トラクタ（直進アシスト）

新たな生産の方式

直播栽培体系への移行・拡大



水稲において、自動操舵トラクタ（直進アシスト）及びドリルシーダーを活用するとともに、乾田直播栽培面積の割合及び栽培面積の拡大を図ることにより、労働生産性を向上させる。

<申請者>

高橋 友栄（秋田県大仙市）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲7.5ha、大豆3ha

従業員数：2名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

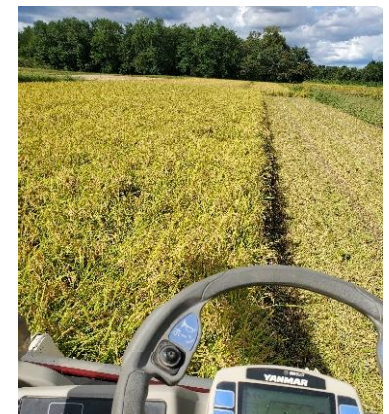
<活用予定の支援措置>

スマート農業技術活用投資促進税制
補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



自走操舵トラクタ



稲刈りの様子

～認定を受けて一言～

スマート農業技術、乾田直播栽培技術を活用し労働の効率化、作業体系の効率化を図り、規模拡大を目指していきたい。